

「初めて見た時からタイセイさんと建てたいと思っていました。
帰る場所ができたことで安心できます。」



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.033
カムホームストーリー
高知市・Oさま邸
竣工:2011年12月
設計担当:福井 美絵



「初めて見た時から決めていました」

7歳の男の子、3歳と1歳になる女の子がいる、いつも明るい笑い声が絶えないOさまご一家。「家賃を払い続けるのはもったいない」という思いから、お子さんの出産をきっかけに家づくりへと踏み出しました。「写真の雰囲気が良かったので」と、心惹かれたタイセイホームの見学会。「近所だし、行ってみよう」と訪れた家は、奥さま好みのナチュラルスタイル。施主のこだわりが詰まったカフェのようなかわい雰囲気「初めて見た時からタイセイさんと建てたいと思っていました」と奥さま。会場には家づくりの熱い思いを語り、ちょっとした疑問にも答えてくれる手書きのPOPが並び、「押し売りもないし、スタッフさんが良かったです」と、ご主人も好感が持てたのだとか。赤ちゃんがいるOさまご夫妻にとって、木の香りや肌触りが心地いい自然素材の安心感も大きな魅力でした。

その後、岡村（お客さまサポーター）に「一度勉強してみますか?」と言われ、土地の探し方や資金繰り、家づくりのノウハウを学ぶにつれ、「この人はウソをつかないな」と感じ、心から信頼できたと言うご主人。気持ちよく見学できたこと、自然素材に安心したこと、ナチュラルでかわいいデザインが気に入ったこと。すべてがピッタリと合って、Oさまの家づくりがはじまりました。

「本もたくさん見たけど、見学会のほうが参考になる」

土地を探しはじめたのは、東日本大震災があった後のこと。家族が生涯を暮らすことになる土地探しではさまざまな不安を抱えていましたが、「岡村さんも一緒に来てくれて、日当たりはいいとか、地盤はしっかりしているとか見てくれて、契約の時も同行してくれて手続きもしてくれました」と、Oさまご夫妻には心強い存在でした。

アパート暮らしでストレスだった少ない収納。新築では「見学会で見て」というシューズクローゼットを半分壁で目隠しし、半分は出し入れしやすいようにオープンなつくりしました。靴以外にも自転車、レジャー用品、災害時の非常用リュックなどを十分に収納できる広さに「これがなかったら大変だったね（笑）」と顔を見合わせてはほ笑むご夫妻です。キッチンには幅の広いカウンターに併用させた収納や、その横にスッキリしまえる扉付きパントリーを完備。リビングには写真が飾れるようにと飾り棚をつけて、かわいいR垂れ壁デザインで収納をつくりました。たくさん収納したいという奥さまの希望が叶えられ、「福井さんが分かってくれていたの、ほとんど変更なくすぐに決まりました」という聞取りです。

家づくりは、あれもしたいこれもしたいと思っていましたが、夢が膨らむほど予算も膨らみ、「どうしても譲れない」という部分を決めては小さなものから少しずつ削る作業。洗濯物を干すために駐車場に隣接してつくった省スペースのウッドデッキは、「車から買い物したものをすぐに置くので便利」という反面、お子さんが増えたことで「もっと広がったら」と思うように。しかし室内干しができるようにと付けていたホスクリーンのおかげで「夜洗濯することも多いので、すごく助かってます」と、共働きのOさまご夫妻にはうれしい助っ人となりました。

「今の家に住み始めた頃からまったくいいですね!」

ドアを開けて入ると、どこか「ホッ」と落ち着く空間が広がるOさまのお宅。「手持ちの家具に色を合わせてくれました」と、やさしい色で統一された収納棚やオーダーキッチン。床は濃いウォールナット色で空間を引き締め、暖色系の灯りでそそえたデザイン照明がやさしく灯る室内です。

あちらこちらに小さなキズが見える天然木の床には、だんだんとツヤが出てきました。奥さまは友人に「床暖房入ってる?」と聞かれたことがあるとか。貼り合わせの既製品では決して感じることのできない味わいやあたたかさは、家族みんなのお気に入りです。

ご家族でアレルギーなどがあるかと伺ったところ、「そういえば前の家では薬を飲まないといられないぐらいの花粉症だったけど、今の家に住み始めた頃からまったくいいですね!」とご主人。これまで同じようにアレルギーや喘息がなくなったというご家族のように、Oさまのお宅でも自然素材の効果が表れているようでした。「帰る場所ができたことで安心できる」と、やさしい笑みを浮かべながら元気よく走り回る子どもたちを見守るご主人。走っても騒いでも音を気にすることなく遊ばせることができる環境で、これからの3人の成長が楽しみなご夫妻。今日も幸せな笑い声が絶えないOさまご一家の暮らしです。